

日蓮大聖人御書全集

じょびようごしよ

除病御書

新版
2165

じよびようごしよ

除病御書

うえ

にちれん

み

でしとう

かこ

ほうぼう

じゅうざい

その上、日蓮の身ならびに弟子等、過去の謗法の重罪い

つ

うえ

げんざい

たねん

あいだほうぼう

もの

まだ尽きざるの上、現在は多年の間謗法の者となり、また

ほうぼう

くに

う

とうじ

しんじんふか

謗法の国に生まる。当時、信心深からざらんか、あにこれを

のが

きへん

やまい

う

り

ひと

脱れんや。ただし、貴辺この病を受くるの理、ある人これ

つ

よ

にちやちようぼ

ほけきよう

もう

あ

ちようぼ

せいてん

うった

を告ぐ。予、日夜朝暮に法華経に申し上げ、朝暮に青天に訴

じよびよう

よし

こんにち

き

きえつなにごと

す

う。除病の由、今日これを聞く。喜悦何事かこれに過ぎん。

ことごとげんざん

こ

きようきようきんげん

事々見参を期せん。恐々謹言。